

Books of the Month

今月の本



そうだったのか!
精神科の病気
その人には
何が起きていて、
どうケアすると
助けになるのか

著：中村創
発行：医学書院
定価：2200 円
(本体 2000 円+税 10%)

精神科の病気は理解しにくい面がある。統合失調症、うつ病、双極症、依存症、パーソナリティ症、発達障害などの疾患ごとに患者さんの内部で起きていることや経験は異なる。ベテラン精神科看護師がその核心を解説し、どう関わることが助けになるのかを根拠とともに明示する。精神疾患をもつ人を支えるすべての人に好適の書。



わたしが誰か
わからない
ヤングケアラーを探す旅

著：中村佑子
発行：医学書院
定価：2200 円
(本体 2000 円+税 10%)

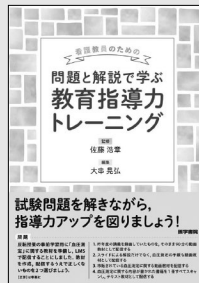
ヤングケアラーという言葉で括られることによって、見えなくなってしまう1人ひとりの多様な個のあり方に近づきたい。そんな思いで始まった取材は、いつのまにか、同じくヤングケアラーであった自らの記憶をたぐりよせる旅に変わっていた。著者は立ち止まり、迷走し、そしてふたたび祈るように書き始めた。



超人ナイチンゲール

著：栗原康
発行：医学書院
定価：2200 円
(本体 2000 円+税 10%)

鬼才文人アナキストが、かつてないナイチンゲールを語り出した。著者は、ナイチンゲールがクリミア赴任の前に書いた自伝的小説『カサンドラ』で彼女と出会った。その人は聖女でも合理主義者でもなく、ぶっとんでいて、近代的個人のあり方を軽々と超える人だった。そこに、誰も知らなかったナイチンゲールがいた。



看護教員のための
問題と解説で学ぶ
教育指導力
トレーニング

監修：佐藤浩章
編集：大串晃弘
発行：医学書院
定価：2640 円
(本体 2400 円+税 10%)

多くの看護系大学、専門学校では、教育能力を育成するための研修を提供していない。本書は、そんな状況で孤軍奮闘する看護教員に、教育学と看護学の専門家が看護教育という文脈で教育学の基礎を指南する。問題とその解説という形式で、教育指導の知識を学びやすく構成した。初心者だけでなくベテランも必読の1冊。

Books of the Month

今月の本



新人・後輩の アセスメント力を育む 指導

看護師の思考を刺激する
OJT

編著：阿部幸恵
発行：日本看護協会出版会
定価：3080 円
(本体 2800 円+税 10%)

新人・後輩を指導する先輩ナースは「指導の時間がとれない」と嘆く。本書は、「先輩ナースが日々行う看護実践のすべてが指導である」を前提に、アセスメント力を磨く方法を、ケア場面に沿った OJT での声かけと行動に引きつけて解説。さらに指導の心得 7 か条を示し、実践型看護過程に沿った思考力を育む指導例を伝授する。



頭のうえを何かが

著：岡崎乾二郎
発行：ナナロク社
定価：2530 円
(本体 2300 円+税 10%)

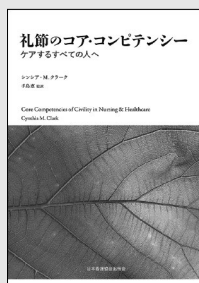
現代抽象画家が脳梗塞で倒れた。右半身麻痺の状態でも 1 か月後、麻痺した右手で絵を描き始めた。そして、太い色鉛筆で絵を描くことがリハビリの一環になった。描き始めからの 40 作以上の絵とともに、「ストローク（脳梗塞）は僕にとって恩寵でした。そして深い教えでした」と語り、病をも創造の糧とする示唆にあふれた手記。



出自とは、親子とは 知りたい子どもと 匿名でありたい親

著：新田あゆみ
発行：生活書院
定価：2970 円
(本体 2700 円+税 10%)

AID（非配偶者間人工授精）や「こうのとりのゆりかご」などで起こる、子どもの出自を知る権利と親の匿名性の問題。そのどちらをも尊重する道はあるのだろうか？ 本書では、当事者にインタビューを行い、「親」と「子」を対立するものとしてではなく、親子の縁の喪失という共通の経験を持ち、ともに生きていくことができる者として捉えるという視点から、問題提起し、考察する。



礼節の コア・コンピテンシー ケアするすべての人へ

著：シンシア・M. クラーク
監訳：手島恵
発行：日本看護協会出版会
定価：5280 円
(本体 4800 円+税 10%)

礼節は尊重と同義であり、他者の視点、尊厳、幸福に対する真の配慮に考慮しながら、すべてのメンバーが自分自身を真に表現し、尊重され、安全に感じる雰囲気を作り出すのに役立つ。本書は礼節の基本と実践、礼節の効用、組織文化での礼節などを事例をとともに解説し、チームコミュニケーション向上の秘訣を指南する。